

## 参考資料

2008年5月23日

当参考資料は、F. ホフマン・ラ・ロシュが2008年5月22日（スイス現地時間）に発表した英文プレスリリースを、戦略的アライアンスを締結している中外製薬が翻訳版として、報道関係者の皆様に提供させていただくものです。

従いまして、日本国内と状況が異なる場合があること、また、正式言語が英語であるため、表現や内容につきましては英文プレスリリースが優先されますことをご留意下さい。

英文プレスリリースは、<http://www.roche.com/home/media/med-cor.htm> をご参照下さい。

### 本件に関するお問合せ先

日興コンタクトセンター公開買付け専用ダイヤル【個人株主様専用】

フリーダイヤル：0120-250-959

開設期間：公開買付け期間（平成20年5月23日～平成20年6月23日（予定））

9：00～17：00（但し、土・日・祝日を除く）

（注）応募手続き書類のご請求の際は、株主ご本人様がお問合せ下さいますようお願いいたします。

2008年5月22日 バーゼル発

## ロシュが中外製薬に対する持株比率を50.1%から59.9%に増加へ

### 戦略的アライアンスの重要性を強調

ロシュは、本日、中外製薬に対する持株比率を50.1%から59.9%に増加させる意向である旨を発表しました。ロシュは、中外製薬の株主に一株1,730円で公開買付けに応募する機会を提供させていただいています（金融商品取引法に基づく公開買付けによります）。買付価格は、2008年5月21日の中外製薬の株価の終値である1,549円に11.7%のプレミアムを上乗せしたものです。この公開買付けが成功した場合、ロシュの中外製薬に対する持株比率は、現在の50.1%から59.9%に増加します。これは、アライアンス開始から5年目以降のいかなる時期でも持株比率を最大59.9%に増加させることができるというロシュの権利に基づくものです。

ロシュの取締役会会長であるフランツ B. フーマーは「当社は、日本市場の長期的潜在力および成功している中外製薬とのパートナーシップの戦略的重要性の双方を確信し、持株比率を増加させることにしました。両社のパートナーシップは5年以上前に開始されましたが、その間、両社の関係はあらゆる分野で強化され、双方の利益に結び付いています。」とコメントしております。

ロシュと中外製薬とのアライアンスは、2002年10月より開始されましたが、多くの重要な成果を生んでまいりました。この5年間で、中外製薬は、Avastin（結腸・直腸がん）、Copegus（C型肝炎における Pegasys との併用）、Tarceva（肺がん）を発売するとともに、Xeloda（結腸がん術後補助療法）と Herceptin（乳がん術後補助療法）の追加適応を取得しました。他の重要な成果として、2007年11月の米国と欧州における Actemra（関節リウマチ）の承認申請があります。Actemra はロシュ・グループがグローバル市場のために開発する中外製薬の初めての薬剤です。日本では、Actemra は2005年にキャッスルマン病の治療薬として発売され、最近では関節リウマチの適応が承認されました。さらに、ロシュが2007年に中外製薬からライセンスを受けた早期開発段階にある3つの化合物の1つである R7201（CSG452）は、II型糖尿病に対する第I相臨床試験を開始しました。

### 中外製薬について

中外製薬は、医療用医薬品に特化し東京に本社を置く、バイオ医薬品をリードする研究開発型の製薬企業の一つです。

2002年10月のロシュとの戦略的アライアンスの締結以降、ロシュ・グループの重要メンバーとして、国内外で積極的な医療用医薬品の研究開発活動を展開しています。特に「がん」「腎」「骨・関節」の3領域を中心に、国際的に通用する革新的な医薬品の創製に取り組んでいます。

国内では、御殿場、鎌倉の研究拠点が連携して創薬研究活動を行う一方、浮間では工業化技術の研究を行っています。また海外では、子会社の中外ファーマ・ユー・エス・エー、中外ファーマ・ヨーロッパにて、米国と欧州においてそれぞれ臨床開発活動を行っています。

2007年の連結売上高は3,448億円、営業利益は667億円でした。

### ロシュについて

ロシュは、スイスのバーゼルに本社を置く医薬品および診断薬領域における研究開発型の世界的ヘルスケア企業です。ロシュ・グループは、世界最大のバイオテクノロジー企業であり、疾病の早期発見、予防、診断、治療のための革新的製品やサービスのサプライヤーとして、人びとの健康と QOL の改善に多方面で貢献しています。診断薬事業、がんおよび移植領域の医薬品で世界第1位、ウイルス感染症領域ではマーケットリーダーです。さらに、自己免疫疾患、炎症、代謝および中枢神経系などの主要な治療領域でも活躍しています。2007年度の売上は、医薬品事業では368億スイスフラン、診断薬事業では93億スイスフランでした。また、ロシュは世界各国に約79,000人の社員を擁し、多数のパートナー企業と研究開発契約や戦略的アライアンスを締結しており、ジェネンテックと中外製薬の株式の過半数を保有しています。また、研究開発費に約80億スイスフランを投資しています。ロシュ・グループに関するさらに詳しい情報は [www.roche.com](http://www.roche.com) をご覧下さい。

本プレスリリースに使用された商標はすべて法律で保護されています。